



雅楽

宮中に伝わる、みやびな調べ



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

雅楽の世界	3～4
雅楽のしくみ	5～12
雅楽を楽しむ	13～15
深めよう	16～21
マナーと用語	22～23
復習	24～25
伝えよう	26～27
ふり返り	28～30

雅楽ってなに？

雅楽は、日本に伝わる、いちばん古い合奏音楽のひとつです。

雅楽（ががく）とは、**古代から今に伝わる日本の宮廷音楽**です。

「雅楽」という言葉には「みやびな（上品で美しい）音楽」という意味がこめられています。笛や笙（しょう）などの楽器の音に、舞（まい）が組み合わさることもあります。



雅楽の始まり

雅楽は、大陸（中国・朝鮮半島など）から伝わった音楽や舞と、日本にもともとあった歌や舞が合わさって、長い時間をかけてできあがっていったといわれています。

宮中

神社

儀式

伝統

今も宮内庁や各地の神社で受けつがれています。

ポイント

- 雅楽は、1000年以上前から続く音楽だといわれています。
- 西洋のオーケストラとはちがう、独自の楽器と音の重なりをもっています。
- 現在も、宮内庁式部職楽部（くないちょうしきぶしょくがくぶ）などで演奏が受けつがれています。

やってみよう

1. 「雅楽」という字を見て、どんな音楽を想像しますか。

2. 笛や太鼓など、知っている和楽器を書き出してみよう。

ワンポイント 「雅」という字には「みやびやか」「上品」という意味があります。雅楽は、その名のとおり、ゆったりと上品な響きをもつ音楽です。

書いて覚えよう

雅楽の歴史と宮中の音楽

雅楽は、大陸から伝わった音楽と、日本の音楽が結びついて生まれました。



奈良～平安時代

なら～へいあん

大陸から音楽や舞が伝わり、日本風に整えられていった

伝来と成立



平安時代

へいあんじだい

宮中の儀式や行事で盛んに演奏されるようになった

宮廷での発展



今

いま

宮内庁や神社、寺院で大切に受けつがれている

今に伝わる



Ken

奈良時代から平安時代にかけて、今の形に近づいていったといわれているよ。

Emma

雅楽って、いつごろからあるの？



ポイント

- 大陸から伝わった音楽と、日本にもとからあった歌や舞が合わさってできました。
- 長い歴史の中で、宮中の行事に欠かせない音楽になりました。

やってみよう

- 雅楽が発展した「奈良時代」「平安時代」がどんな時代だったか、資料で調べてみよう。

書いて覚えよう

管絃・舞楽・歌物

雅楽には、演奏のしかたによって3つの形があります。

管絃（かんげん）

楽器だけで演奏する。舞は入らない

舞楽（ぶがく）

音楽に合わせて舞う。衣装や面をつけることもある

歌物（うたもの）

歌を中心にした雅楽。催馬楽（さいばら）などがある

Emma

踊りがある雅楽とない雅楽があるの？



Ken

そう。舞がつくのが舞楽、楽器だけの演奏が管絃だよ。

ポイント

- 3つの形は、場面や行事によって使い分けられます。
- 同じ曲でも、管絃として演奏されたり、舞楽として舞われたりすることがあります。

やってみよう

1. 3つの形の名前を、声に出して読んでみよう。
2. 見るなら、舞のある「舞楽」と楽器だけの「管絃」、どちらを見てみたいですか。

書いて覚えよう

雅楽の楽器

雅楽で使う楽器は、大きく3つのグループに分けられます。

グループ	楽器の例	役わり
吹きもの（三管）	笙・箏・龍笛	メロディや響きをつくる
打ちもの（三鼓）	羯鼓・太鼓・鉦鼓	リズムをきざむ
弾きもの（両弦）	楽琵琶・楽箏	音に彩りをそえる

ポイント

- この3つのグループが組み合わさって、雅楽ならではの響きが生まれます。
- 楽器の組み合わせは、演奏する曲や場面によって変わります。

やってみよう

1. 3つのグループの名前を書き出してみよう。

ワンポイント 楽器の音を1つずつ意識して聴くと、重なり合う響きのちがいに気づきやすくなります。

書いて覚えよう

三管：笙・箏・龍笛

3つの管楽器が、それぞれちがう役わりで音を重ねます。

笙

しょう / shō

小さなパイプが集まった楽器。和音のような音を出す

天から差す光のような音といわれる

箏

ひちりき / hichiriki

小さいが力強い音の縦笛。メロディの主役になる

人の声に近い音

龍笛

りゅうてき / ryūteki

横笛。高くのびやかな音を出す

天と地の間をかける音といわれる

Emma

笙の音は、まるで光が差しているみたい。



Ken

箏の音は、人の声みたいに聞こえるよ。

ポイント

- この3つの楽器は「三管（さんかん）」と呼ばれ、雅楽の中心的な楽器です。
- それぞれ音の高さや役わりがちがいが、重なることで独特の響きが生まれます。

やってみよう

1. 3つの楽器のうち、名前も音も知らなかったものはどれですか。 _____
2. 動画や音源で、それぞれの音を聴きくらべてみよう。

書いて覚えよう

打楽器

打楽器が、雅楽の速さと調子を決めています。

鞆鼓

かっこ／kakko

小さな両面太鼓。曲の速さやテンポをリードする

太鼓

たいこ

大きな太鼓。曲の区切りで大きな音を鳴らす

鉦鼓

しょうこ

つり下げた金属の打楽器。かん高い音で拍をきざむ

ポイント

- この3つは「三鼓（さんこ）」と呼ばれています。
- 鞆鼓を打つ人が、曲全体のテンポをリードする役わりをもつことが多いといわれています。

やってみよう

1. 机をたたいて、ゆっくりとした拍を打ってみよう。
2. 太鼓の音を、擬音（ドーン、など）で書いてみよう。 _____

書いて覚えよう

雅楽の装束

雅楽の衣装には、色や形にも意味があります。

雅楽を演奏したり舞ったりする人は、特別な装束（しょうぞく）を身につけます。舞楽では、曲や役によって色あざやかな衣装や、面（めん）を使うこともあります。



装束のいろいろ

袍（ほう）

裋褕（りょうとう）

烏兜（とりかぶと）

面

色や模様には、位や曲の性格を表す意味がこめられていることがあります。

ポイント

- 装束は、儀式にふさわしい格式のある姿を大切にしています。
- 地域や神社によって、伝わる装束や道具に少しずつちがいがあります。

やってみよう

1. 写真や映像で、雅楽の装束の色や形を観察してみよう。

書いて覚えよう

越天樂

「越天楽（えてんらく）」は、もっともよく知られる雅楽の曲です。

越天楽（えてんらく）は、雅楽の中でも特に有名な曲で、お祝いの席で耳にする
こともあります。

もとは管絃の曲ですが、歌詞をつけて歌う「越天楽今様」という形でも親しまれています。



ポイント

- ゆったりとした旋律が特ちょうです。
- テレビや映像などで、お祝いの場面の音楽として使われることもあります。

やってみよう

1. 「越天楽」を動画や音源で聴いてみよう。
2. 聴いた感じを、ひとことで書いてみよう。

ワンポイント 曲名を知っていると、耳にしたときに「これが越天楽か」と気づけて、ぐっと身近に感じられます。

書いて覚えよう

神社の雅楽

雅楽は、宮中だけでなく神社の祭りにも息づいています。

雅楽は宮中だけでなく、各地の神社の祭礼（さいれい）や儀式でも演奏されています。

神社によっては、代々受けつがれてきた雅楽の演奏団体をもつところもあります。



ポイント

- 神社の雅楽は、地域の人たちによって大切に受けつがれていることが多いです。
- 祭りの日には、雅楽の生演奏を聴ける神社もあります。

やってみよう

1. 自分の住む地域や、行ったことのある神社で雅楽が演奏されているか調べてみよう。

書いて覚えよう

雅楽の音階

雅楽には、独自の音の並び方があります。

雅楽の音の世界

雅楽には「呂旋法（りょせんぽう）」「律旋法（りつせんぽう）」などと呼ばれる、独自の音の並び方（音階）があります。

西洋の音楽のドレミとはちがう響きをもつため、聴きなれないうちは不思議に感じるかもしれません。

ポイント

- 音の並び方がちがうと、曲全体の雰囲気も大きく変わります。
- 何度も聴くうちに、独特の響きが心地よく感じられてくることがあります。

やってみよう

1. 雅楽を聴いて、ふだん聴く音楽とのちがいを感じたところを書こう。

ワンポイント 「聴きなれない」と感じるのは自然なことです。少しずつ耳を慣らしていきましょう。

書いて覚えよう

ゆったりした時間と雅楽の見方

雅楽は、急がずゆったりと味わう音楽です。

ポイント

- 雅楽のテンポは、多くの現代の音楽よりゆっくりです。
- 音と音の「間（ま）」を感じながら聴くと、味わいが深まります。
- 曲の展開をすべて理解しようとせず、響きにひたることも楽しみ方のひとつです。

Emma

最初は眠くなっちゃいそう....。



Ken

それでいいんだよ。ゆったりした時間を味わうための音楽でもあるから。

やってみよう

1. 目を閉じて、雅楽を3分間聴いてみよう。
2. 聴いている間に感じたことを書こう。

書いて覚えよう

雅楽を聴きに行こう

雅楽は、いろいろな場所で実際に聴くことができます。

神社の祭礼

例大祭などで奉納演奏が行われることがある

雅樂公演

ホールなどで行われる演奏会

宮内庁楽部

春・秋に一般公開の演奏会が開かれることがある

学校行事

地域によっては郷土芸能として紹介されることも

動画配信

演奏会の映像が公開されていることも
ある

博物館

楽器の展示や解説を見られることがあ
る

ポイント

- 最初は動画で親しんでから、実際の演奏会に足を運ぶのもおすすめです。
- 神社の祭礼は、地域によって日程や内容が大きくちがいます。

やってみよう

1. 自分の地域や旅行先で、雅楽を聴けそうな場所を調べてみよう。

書いて覚えよう

雅楽の魅力

雅楽には、1000年をこえて受けつがれてきた魅力があります。

雅楽の魅力は、長い年月を経ても変わらず受けつがれてきた「静けさ」と「格式」にあります。

急がず、ゆったりと音に耳をかたむける時間そのものが、現代では貴重な体験ともいえます。



ポイント

- 古くから伝わる音楽が、今も生きた形で演奏されていることは、とても貴重です。
- 楽器・舞・衣装など、複数の芸術が組み合わさっている点も魅力のひとつです。

やってみよう

1. 雅楽のどんなところに魅力を感じましたか。

書いて覚えよう

写真や実物を見てみよう

写真や実物を見ると、雅楽がもっと身近に感じられます。

見てみたいもの

笙

箏

龍笛

羯鼓

舞楽の装束

面

博物館や資料館、資料の写真を探してみましょう。

やってみよう

1. 雅楽の楽器の写真を1つ見つけて、形の特ちょうを書こう。

2. 気に入った装束や面があれば、その色や形を書こう。

ワンポイント 神社やお寺の宝物殿に、雅楽の楽器や装束が保管・展示されていることがあります。

書いて覚えよう

口を使う楽器のまねをするときは、清潔な自分の道具を使い、無理に大きな音を出そうとしないようにしましょう。

やってみよう

1. 紙コップや空き容器を鞆鼓に見立てて、ゆっくりとした拍を打てよう。
2. 「ドーン」「ポン」など、太鼓や鞆鼓の音を声でまねてみよう。
3. 家族や友だちと、まねた音を合わせてみよう。

ポイント

- 実際に音を出してみると、楽器の音の重なりに気づきやすくなります。
- うまく音が出なくても大丈夫。リズムを感じる事が目的です。

書いて覚えよう

18

地域によるちがい

雅楽は、伝える場所によって少しずつすがたがちがいます。

宮中の雅楽

宮内庁式部職楽部が伝える

儀式で演奏

即位礼などの国の行事

受けつぎ方

代々、専門の楽師が伝承

神社の雅楽

地域の神社が伝える

祭礼で奉納

地域の人が参加することもある

受けつぎ方

地域の保存会などが伝承

ポイント

- 同じ「雅楽」でも、伝えている場所によって曲目や演奏のしかたに少しちがいがあります。
- 地域の雅楽は、その土地の歴史や信仰と結びついていることが多いです。

やってみよう

1. 自分の地域に、雅楽を伝える神社や団体があるか調べてみよう。

書いて覚えよう

昔と今をくらべよう

雅楽は、形を大切に守りながら今に伝わっています。

昔

宮中や貴族の楽しみ

主な場

宮中の儀式・貴族の遊び

聴く人

限られた身分の人々

今

だれもが親しめる文化財

主な場

演奏会・神社の祭礼・映像

聴く人

興味があればだれでも

ポイント

- 演奏のしかたや楽器は、昔から大きく変えずに受けつがれています。
- 一方で、聴く機会は映像などによって昔より広がっています。

やってみよう

1. 昔と今で、いちばん変わったと思うところはどこですか。 _____

書いて覚えよう

よくある疑問

雅楽について、よくある疑問に答えます。

雅楽は難しく感じても大丈夫？

初めは音や間になじみがなくて当然です。少しずつ耳を慣らしていきましょう。

どこで習えるの？

地域の雅楽保存会や神社、専門の教室で習えることがあります。

現代の音楽と関係あるの？

雅楽の音づかいやリズムが、現代の作品に生かされることもあります。

ポイント

- 疑問に思ったことは、資料館や神社の人に聞いてみるのもよい方法です。

やってみよう

- あなたが雅楽について知りたいことを1つ書こう。

書いて覚えよう

マナーと注意点

雅楽を鑑賞するときのマナーを知っておきましょう。

ポイント

- 演奏中は静かに聴き、私語やスマートフォンの操作は控えましょう。
- 写真や動画の撮影は、会場や神社のルールに従いましょう。
- 神社での奉納演奏は儀式の一部です。静かに見守りましょう。

困ったときは

撮影や録音がよいかどうか迷ったときは、係の人に確認しましょう。

やってみよう

1. 演奏会や神社に行く前に確認しておきたいマナーを1つ書こう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しましょう。

演奏の形式

☐ 管絃

楽器だけの演奏

☐ 舞楽

舞をともなう演奏

☐ 歌物

歌を中心にした雅楽

楽器

☐ 三管

笙・箏・龍笛

☐ 三鼓

羯鼓・太鼓・鉦鼓

☐ 両弦

楽琵琶・楽箏

曲・場所

☐ 越天楽

代表的な雅楽の曲

☐ 宮内庁楽部

宮中の雅楽を伝える組織

☐ 神社の雅楽

地域の祭礼で伝わる雅楽

その他

☐ 装束

演奏や舞のための衣装

☐ 音階

音の並び方

☐ 間（ま）

音と音の間の時間

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、雅楽の話がもっと楽しくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|-----|---|--------------------|
| 管絃 | ● | ● ア. 代表的な雅楽の曲 |
| 舞楽 | ● | ● イ. 曲のテンポをリードする太鼓 |
| 笙 | ● | ● ウ. 舞をともなう演奏 |
| 羯鼓 | ● | ● エ. 楽器だけで演奏する形 |
| 越天楽 | ● | ● オ. 和音のような音を出す管楽器 |

2. 雅楽の3つの管楽器（三管）を書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 宮中の雅楽を伝える組織 → （ 宮内庁楽部 ／ 市役所 ）
2. 舞をともなう雅楽の形 → （ 舞楽 ／ 管絃 ）

書いて覚えよう

書いて覚えよう

家族や友だちに話してみよう

学んだことを、自分の言葉で伝えてみよう。

伝える相手

雅楽ってなに？

3つの演奏形式

おすすめの曲

聞いてほしい感想

Ken の例

伝える相手 おばあちゃん／雅楽ってなに？ 宮中に伝わる古い音楽／おすすめの曲 越天楽／聞いてほしい感想 笛の音がきれいだった

ポイント

- 「知っている」を「話せる」にすると、理解がもっと深まります。

書いて覚えよう

雅楽を、英語でも紹介できるようにしよう。

雅楽は、今も伝わる日本最古の宮廷音楽です。

雅楽には、演奏だけ・舞つき・歌中心の3つの形があります。

音楽はゆっくりとおだやかです。

2. 外国から来た人に雅楽を紹介するとしたら、どの文を使いますか。

もっと知りたい人へ

雅楽の世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

図書館で

雅楽や日本音楽史の本を借りる

演奏会へ

雅楽公演や神社の奉納演奏を見に行く

動画で

宮内庁楽部などの演奏映像を見る

あわせて知りたいこと

能・狂言

舞台芸能の歴史とのつながり

神社の祭礼

地域に伝わる音楽と行事

和楽器

雅楽以外の日本の楽器

ポイント

- まずは動画で気軽に親しみ、機会があれば実際の演奏に足を運んでみましょう。

書いて覚えよう

雅楽チャレンジ

教室の外でも、雅楽はすぐに感じられます。

聴こう

越天楽を動画や音源で聴いてみる

調べよう

地域の神社に雅楽が伝わっているか調べる

伝えよう

雅楽の魅力を家族や友だちに話してみる

こたえ

L28 管絃→エ 舞楽→ウ 笙→オ 羯鼓→イ 越天楽→ア 2. 笙 / 箏 / 龍笛 3. 宮内庁楽部 / 舞楽

L33 (例) 雅楽は、大陸と日本の音楽が結びついてできた、宮中に伝わる古い音楽。

書いて覚えよう

雅楽 (Season 4 | No.36)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。